

2023 年 11 月 2 日

The Emerging Markets Weekly

米金利上昇は一服、資源国通貨を中心に対ドルで持ち直し

新興国市場:先週末 10 月 27 日の新興国通貨はまちまち。アジア時間は前日の米金利低下が支援材料となり概ね小幅に上昇した。KRW や MYR が堅調。一方、IDR は下落した。欧米時間、米経済指標が良好な結果となるも、米金利低下を受けドル安となった。ZAR や MXN が買われた。他方、RUB や BRL は下落。BRL はブラジルのルラ大統領が 2024 年に財政赤字を解消する必要はないとの発言が重し。週初 30 日、アジア時間の新興国通貨は米金利低下を受け上昇。MYR が値を伸ばした。その他、THB や SGD も堅調。欧米時間、欧州株の上昇を受けてユーロに連れて東欧通貨も上昇した。米金利が反発するも、日本銀行の YCC 政策修正観測報道を受けた円高などがドルを押し下げ、新興国通貨は概ね上昇。RUB は前日比+1.8%値を伸ばした。片や、BRL は引き続きルラ大統領の発言が嫌気された。31 日のアジア時間、中国 10 月製造業・非製造業購買担当者景気指数 (PMI) が冴えない結果となったことが新興国通貨の重しに。SGD や CNY が軟調。欧州時間、欧州株の上昇を支えにユーロが堅調、新興国通貨も反発。しかし、強い米経済指標の結果を受けて米金利が上昇すると、新興国通貨は反落した。RUB の下落が目立った。一方、ZAR は南アフリカの中期予算方針の発表を控え前日比+1.1%上昇。11 月 1 日のアジア時間、FOMC を控え市場には慎重ムードが広がり、新興国通貨は総じて下落。THB や KRW が軟調。欧米時間、米 10 月 ISM 製造業景気指数が市場予想を下振れて米金利が低下、その後 FOMC でも大きなサプライズはなく、新興国通貨は反発の流れが継続し、BRL と MXN は前日比+1.0%超上昇した。

アジア:10 月 31 日公表の中国 10 月製造業 PMI は 49.5 と景気拡大・縮小の分け目となる 50 を 2 か月ぶりに下回り、市場予想も下振れた。中国 10 月非製造業 PMI は 50.6 と 50 を上回ったものの、市場予想を下回った。同日発表の台湾 7~9 月期実質 GDP 成長率は前年比+2.3%と市場予想を上振れた。

中東欧・アフリカ:ロシア中央銀行 (CBR) は 10 月 27 日に政策金利を 200bp 引き上げ 15.00%にすることを決定。利上げは 4 会合連続となった。声明文で、供給能力を上回る国内需要、高水準のインフレ期待、融資の高い伸び率、予想を上回る中期的な財政拡張を利上げの理由として挙げた。TRY は 10 月 31 日に過去最安値を更新した。中東情勢の緊迫化と原油価格の上昇や米金利の高止まりなどが重しとなっている。

ラテンアメリカ:チリ中央銀行は 10 月 26 日に政策金利を 50bp 引き下げ 9.00%にすることを決定した。利下げは 3 会合連続。利下げ幅は市場予想より小幅にとどまった。チリ市場は 27 日休場だったため、30 日にチリペソ (CLP) は前日比+2.8%上昇した。31 日発表のメキシコ 7~9 期実質 GDP 成長率は前年比+3.3%と市場予想を上振れた。ブラジル中央銀行 (BCB) は 11 月 1 日に政策金利を 50bp 引き下げ 12.25%にすることを決定した。50bp の利下げは 3 会合連続。BCB は同程度の追加利下げを再び示唆した。

金融市場部
マーケット・エコノミスト
堀 堯大
03-3242-7065
takahiro.hori@mizuho-bk.co.jp

長谷川 久悟
03-3242-7065
kyugo.hasegawa@mizuho-bk.co.jp

大島 由喜
03-3242-7065
yuki.ooshima@mizuho-bk.co.jp

欧州資金部
シニア為替ストラテジスト
中島 将行
masayuki.nakajima@mhc.co.uk

市場概観(フィリピン)

BSP が緊急利上げを実施～資源高・輸入物価上昇も今後の懸念材料に

金融市場部
マーケット・エコノミスト
堀 堯大
takahiro.hori@mizuho-bk.co.jp

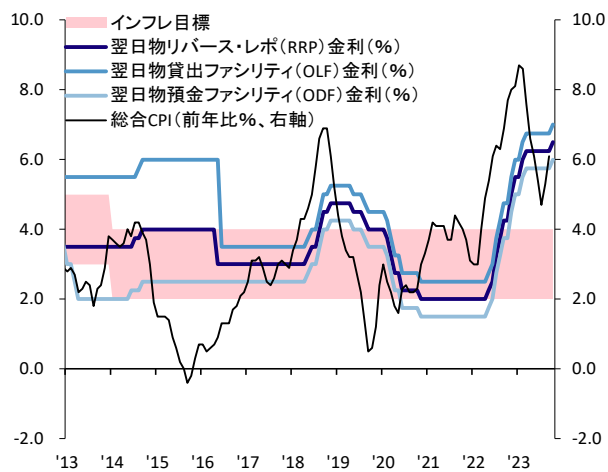
フィリピン中央銀行(BSP)は 26 日に臨時の金融政策会合を開催し、政策金利の翌日物リバースレポレートに従来の 6.25%から 6.50%へ引き上げた(図表 1)。BSP の利上げは今年の 3 月以来の決定となった。また、上限金利の翌日物貸出ファシリティ(OLF)レートおよび下限金利の翌日物預金ファシリティ(ODF)レートもそれぞれ 7.00%と 6.00%となった。

BSP は臨時の利上げに至った背景として、将来的なインフレリスクの高まりに言及した。直近公表の 9 月消費者物価指数(CPI)は前年比+6.1%と 8 月の同+5.3%からまとまった幅で上昇、2 か月連続で加速した(図表 2)。内訳を見ると、食料品価格のインフレ寄与度が高まっており、米をはじめ天候不順を起因とした農産品価格の高騰が影響している様だ。先行きについて、最早年内でのインフレ収束を見込んでおらず、来年以降に持ち越しとなる見方を示している。BSP は足許の中東情勢を踏まえたエネルギー価格の再上昇への警戒を強めている。この他、失業率も統計で測れる範囲で過去最低水準を推移しており、労働市場のひっ迫が賃金インフレを長期化させている可能性も考えられる(図表 3)。これらのインフレ要因を考慮した場合、24 年のインフレ率は前年比で+4.7%まで上振れると BSP は予想した。この前提の下では、24 年においてもインフレは BSP の目標レンジ(+2.0~+4.0%)に収束しないこととなる。

かかる中、BSP はインフレ期待がより安定し、インフレ率が持続的に低下基調となるまでは金融引き締めを継続する必要があるとの認識を示した。今回のインフレの再加速を踏まえてタカ派姿勢を強めた格好となったが、財政面での支援も相まって、中長期的な成長への悪影響は見込んでいないとしている。今後の利上げについてはデータを注視しながらインフレ抑制を第一に、物価安定の責務に則り必要な政策対応をする準備があるとした。レモロナ BSP 総裁は中銀のインフレ抑制対応が後手に回っている可能性に言及し、これが臨時の利上げにも繋がったと思われる。次の会合は予定通り 11 月の開催となっているが、そこでの追加利上げも十分に考えられる状況となっている。

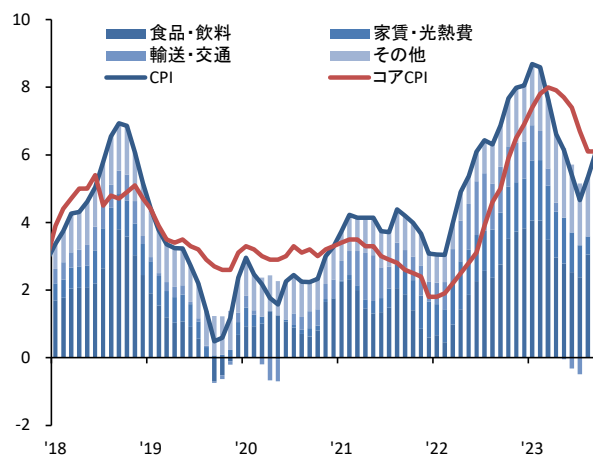
また、上記以外にも米国経済が引き続き堅調で FRB はタカ派姿勢を貫き、ドル優勢の相場となる中で、今後の輸入物価上昇を危惧したことも 1 つの要因であったと思われる。資源高及び PHP 安の同時進行は昨年の米国の利上げ期間にも確認されており、これが輸入物価上昇と貿易収支の悪化を招き、BSP も事態の收拾のために大幅な利上げに着手することとなった。足許の PHP の動向は米金利上昇に押されて断続的に年初来安値を更新する地合いにあり、昨年同様、金利・実需の両面で通貨安リスクが高まっている状況にある。図表 4 に示される外貨準備高の水準に鑑みれば、PHP 買いの為替介入の形跡が見られ、今後も局所的に PHP 安への対応をしていくものと考えられるが、地政学リスクの高まりや世界経済の減速懸念など市場のリスク心理は上向きにくい地合いにあることは留意したい。今回の臨時利上げも PHP 相場の方向感を変えるには至っておらず、FRB の政策動向や中東情勢を踏まえた原油価格動向、中国経済の回復状況など外部要因に左右される展開は継続しそうだ。

図表 1: 政策金利水準とインフレ目標



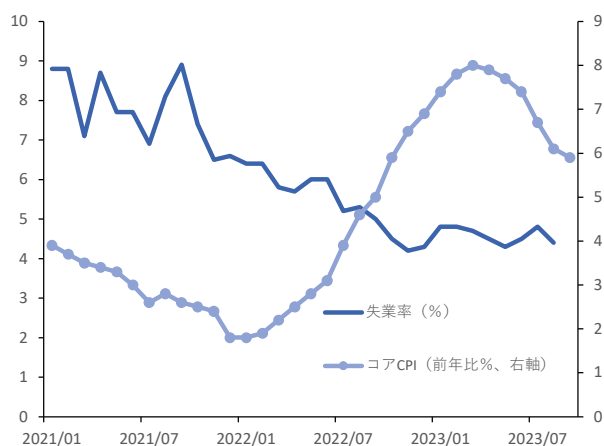
出所: フィリピン中央銀行、フィリピン国家統計局、Bloomberg、みずほ銀行

図表 2: 消費者物価上昇率の推移(前年比%, %ポイント)



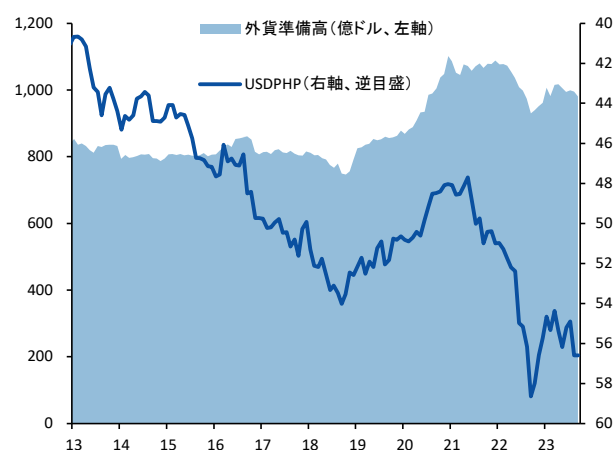
出所: CEIC、みずほ銀行

図表 3: 失業率とコア CPI の推移



出所: CEIC、みずほ銀行

図表 4: PHP と外貨準備高の動向



出所: Bloomberg、みずほ銀行

市場概観(ブラジル)

ハト派と解釈されることを避けた BCB は利下げ幅拡大を牽制

金融市場部
長谷川 久悟
kyugo.hasegawa@mizuho-bk.co.jp

ブラジル中央銀行(BCB)は1日、金融政策委員会(Copom)を開催し、政策金利(翌日物金利、Selic)を12.75%から▲50bp引き下げ、12.25%とした(図表1)。8月会合で3年ぶりに利下げに転じて以降、3会合連続での利下げとなった。なお、ネト・BCB総裁は10月18日に行われたイベントにおいて、コアインフレ鈍化を歓迎するコメントを残した一方で、資源価格高騰や世界的な金融引き締め長期化に警戒感を示した。そのうえで、▲50bpでの利下げが適当と繰り返し、利下げ幅拡大に否定的な意見を述べている。前回会合での声明文でも▲50bpの利下げ継続が示唆されていたこともあって、今回の▲50bp利下げは既定路線だった。なお、金融政策の先行きに関しては、「委員会は、インフレシナリオが予想通りの展開になれば、次回以降の会合においても同規模の追加利下げを実施することを、全会一致で予想する。このペースが、デイスインフレシナリオに必要な縮小的金融政策を維持するのに適切であると判断する。」との文言に変化はなく、次回会合でも▲50bpの利下げ実施が見込まれる。

域内の物価動向に関し、10月半ばまでの1か月間のインフレ率(IPCA-15)は+5.05%(前年比、以下同様)と市場予想にはほぼ一致し、9月(+5.00%)からはわずかに伸びが加速した(図表2)。昨年のエネルギー減税のベース効果の影響でかさ上げされており、中銀によるインフレ目標(2023年:+3.25%±1.5%)を2か月連続で上振れて推移している。実際、住居項目の燃料・エネルギー価格と輸送項目の自動車燃料価格に加え、食品・飲料価格を除いた指数は、当社試算で+5.56%と9月に続き順調な鈍化を見せている。物価の基調が上向いているというわけではない。ベース効果の影響なので過剰に反応する必要はないが、少なくとも年内はインフレ目標を上振れる時間帯が続くだろう。総合ベースの指数が前年比で顕著に減速に向かうのは、年明け以降になりそうだ。

かかる中、先々のインフレ見通しは、前回会合以降、じりじりと低下している。BCBの市場サーベイ(10月27日集計)によれば、市場参加者のIPCA見通しは、2023年で前年比+4.63%、2024年で同+3.90%、2025年で同+3.5%という(図表3)。前回会合時点の調査より、2023年が▲0.23%ポイント、2024年が+0.05%ポイント修正されており、2023年の下方修正が目につく。なお、BCBの見通しによれば、通年のインフレ率に関し2023年に前年比+4.7%、2024年に同+3.6%、2025年に同+3.2%となっており、こちらは前回会合からそれぞれ▲0.3%ポイント、+0.1%ポイント、+0.1%ポイントずつ修正されている。

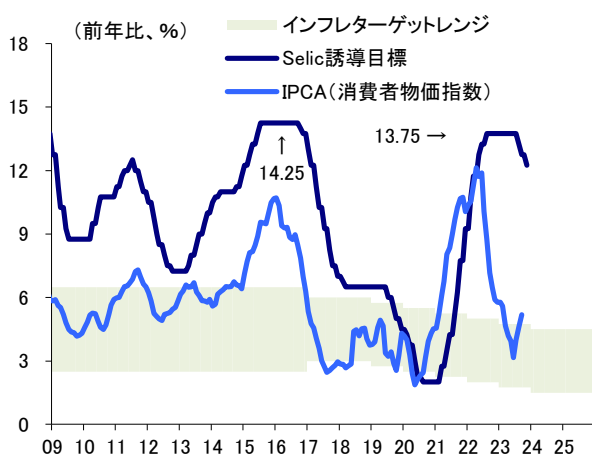
インフレ見通しのリスクバランスに関する文言に関しては、上下双方向に広がっているとの判断は不変だった。足許では、ルラ大統領から「財政赤字はゼロである必要はない」「優先する政策への支出を減らす必要はない」など、緩慢な財政政策を志向するかのような発言も聞こえてきており、今後の動向次第ではインフレの上振れリスクとして浮上する可能性がある。こうした中、上述のBCBサーベイでは、2023年末の政策金利見通しが11.75%となっており、次回12月会合でも▲50bpの利下げが連続するとの予測だ(図表4)。なお、同調査では2024年に合計▲250bpの利下げ実施が予想されているが、域内の景況感指標は消費者サイドを中心に弱含み始めており、市場の利下げ織り込みがやや先行している印象だ(図表5)。FRBのタカ派スタン

スが予想以上に長引きそうな環境下、BCB としては過度にハト派と解釈されることは避けたいといった胸中もあるだろう。声明文の冒頭でも、米長期金利上昇や中東情勢不安を懸念するようなコメントが追加されている。今後は、域内景気の減速感と、FRB との政策格差の間で板挟みになるような展開が予想される。

以上、BCB は予告通りに▲50bp の利下げを実施した。もともと、BCB は「ディスインフレーションプロセスが強化され、インフレ期待が目標を中心に固定されるまで、収縮的な金融政策を継続する必要性を強化」することにコミットしており、次回 12 月会合でも▲50bp の利下げが行われるだろう。利下げ幅拡大は見込まれない。なお、10 月 30 日には、アダジ財務相が新たな Copom メンバーとして、パウロ・ピチェッティ氏とロドリゴ・テイシェアラ氏を指名する方針を示している。議会の承認を得たのち、来年初めから正式に Copom に加わる予定だ。加えて、来年にも新たに 2 名を任命する予定であり、ルラ政権からの圧力の高まりが懸念される状況になっている。もともと、一部の新興国でみられるような行き過ぎた介入はルラ政権下では行われたことがなく、BCB の金融政策に多大な影響をもたらす可能性は大きくはない。

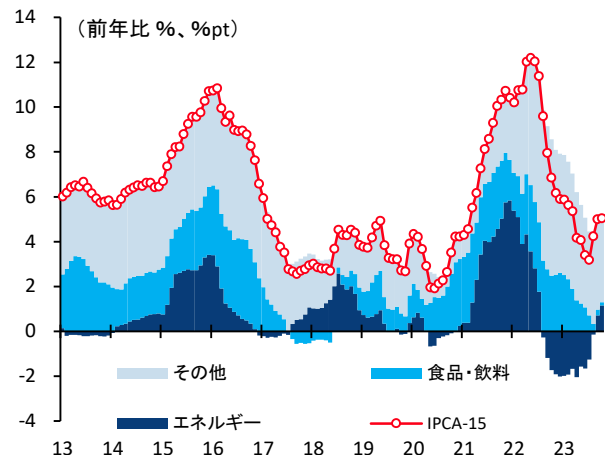
10 月以降の BRL 相場は、5.2 台に弱含む場面もあったが、その後は買い戻しに至っている(図表 6)。高止まりする米金利や BCB のハト派姿勢が BRL の下落要因となった一方で、底堅い域内の株式市場や、堅調な商品価格が BRL の下支えとなっているのだろう。かかる中、年内の BRL 相場は、やや弱含む展開を見込む。BCB の利下げ幅拡大は見込み難いが、来年半ばにかけ継続的な利下げが予見される中、「タカ派的な現状維持」を決め込む公算の大きい FRB との金融政策格差は意識せざるを得ない。加えて、景況感は弱含みを見せており、域内の経済活動は鈍化に向かうだろう。こうした要素が BRL 安要因となる。ただし、底堅く推移する商品価格や中国経済の底入れが、BRL を下支えするだろう。総じて、BRL 相場が大きく崩れるような展開は見込んでいない。

図表 1: 政策金利とインフレ率(IPCA)



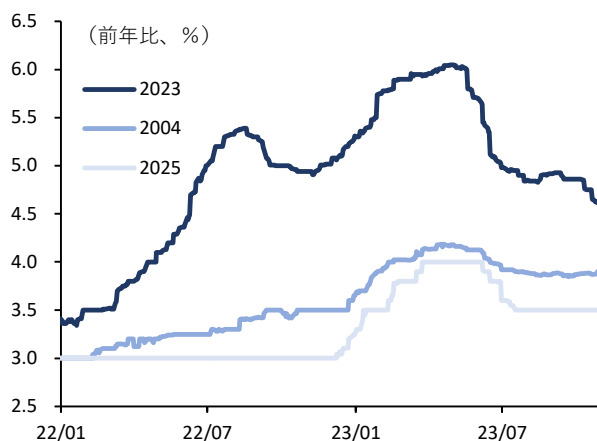
出所: ブラジル中央銀行、ブラジル地理統計院、ブルームバーグ、みずほ銀行

図表 2: インフレ率(IPCA-15)の品目別寄与度



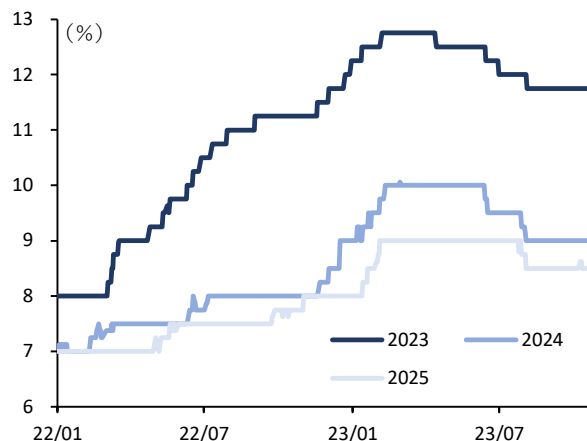
(注) エネルギーは国内燃料と自動車用燃料の合計

出所: ブラジル地理統計院、ブルームバーグ、みずほ銀行

図表 3:BCB 市場サーベイ(年間 IPCA 見通し、中央値)


(注)2023 年 10 月 27 日時点

出所:ブラジル中央銀行、Macrobond、みずほ銀行

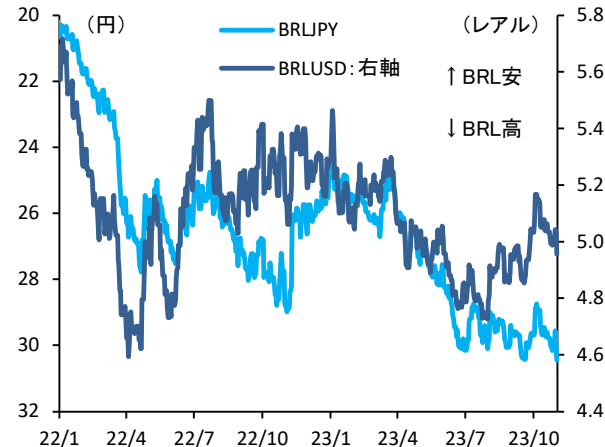
図表 4:BCB 市場サーベイ(年末の政策金利見通し、中央値)


(注)2023 年 10 月 27 日時点

出所:ブラジル中央銀行、Macrobond、みずほ銀行

図表 5:消費者信頼感

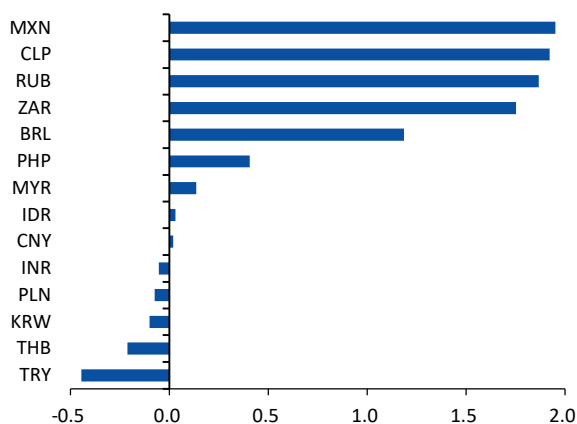

出所:FGV 財団、Macrobond、みずほ銀行

図表 6:BRL スポットレート(日足)


出所:ブルームバーグ、みずほ銀行

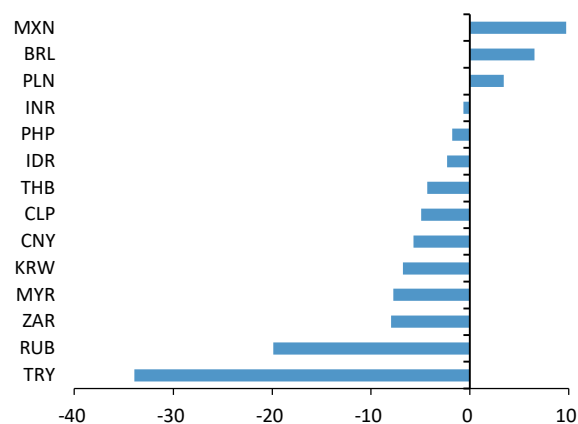
資産別騰落率

為替週間騰落率(対ドル、%)



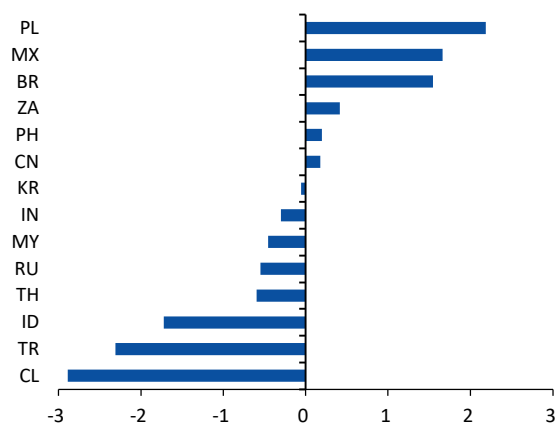
出所: ブルームバーク、みずほ銀行

為替年初来騰落率(対ドル、%)



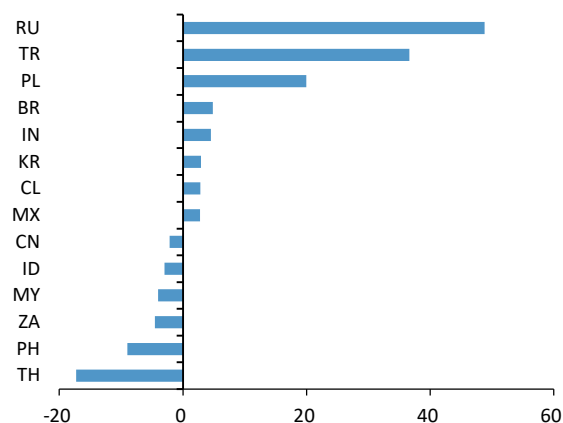
出所: ブルームバーク、みずほ銀行

株価週間騰落率(%)



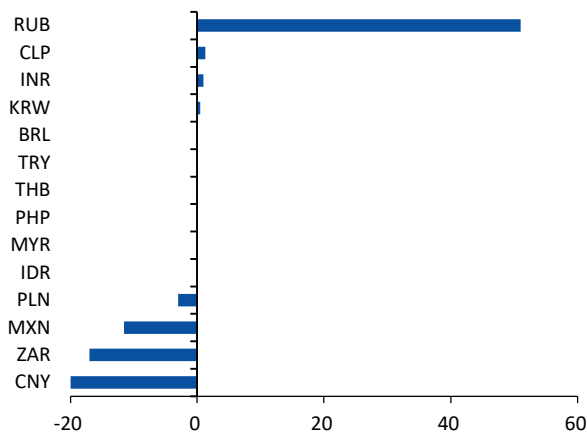
出所: ブルームバーク、みずほ銀行

株価年初来騰落率(%)



出所: ブルームバーク、みずほ銀行

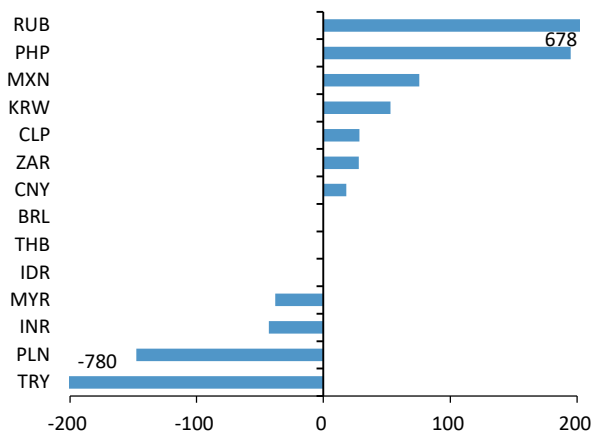
5 年物スワップレート週間変化(bp)



注: データの都合によりタイ、ブラジルの値は未掲載。

出所: ブルームバーク、みずほ銀行

5 年物スワップレート年初来変化(bp)

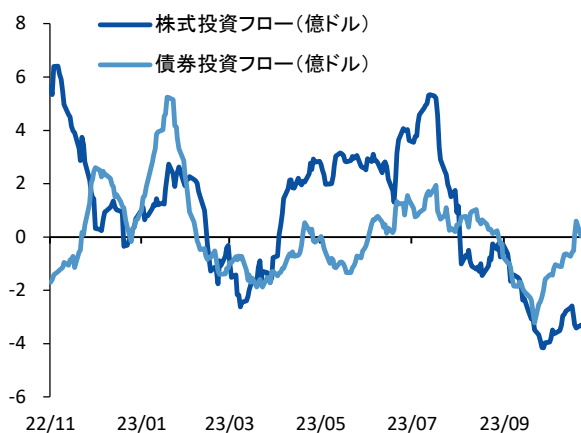


注: データの都合によりタイ、ブラジルの値は未掲載。

出所: ブルームバーク、みずほ銀行

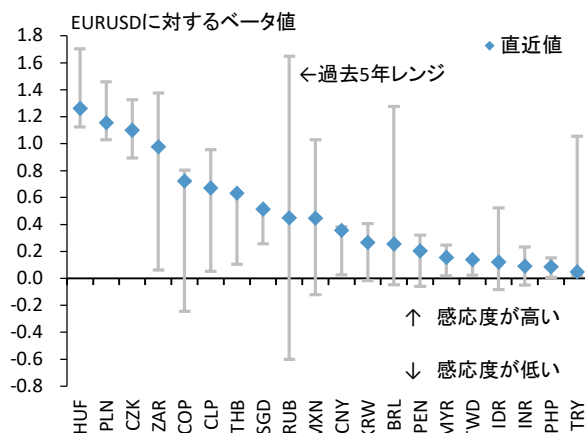
チャート集

主要新興国への証券投資(4週間移動平均)



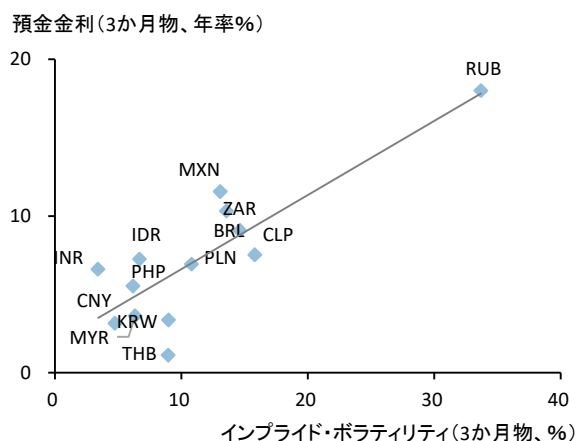
出所:ブルームバーグ、みずほ銀行

EM通貨(対ドル)のEURUSDに対する感応度(過去12か月)



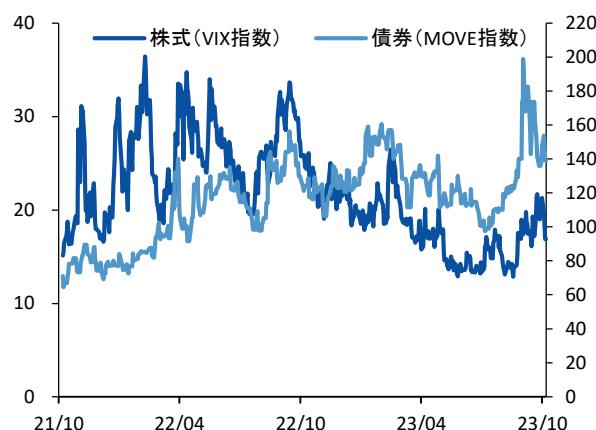
出所:ブルームバーグ、みずほ銀行

新興国の預金金利と為替ボラティリティ



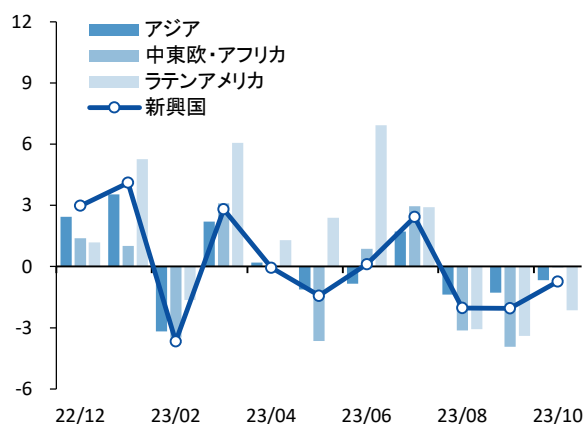
出所:ブルームバーグ、みずほ銀行

株式と債券のボラティリティ(VIX指数、MOVE指数)



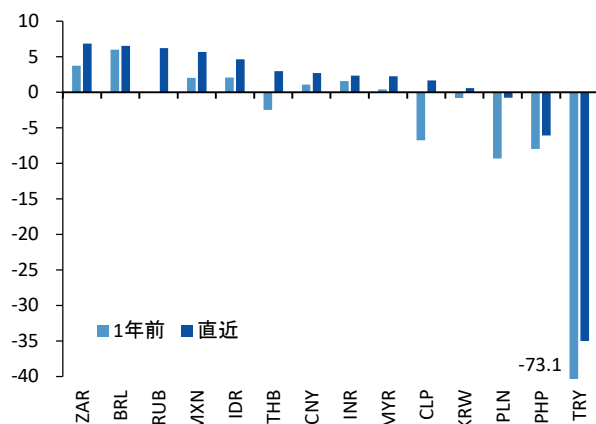
出所:ブルームバーグ、みずほ銀行

新興国現地通貨建て国債月次パフォーマンス(%)



出所:ブルームバーグ、みずほ銀行

実質金利(10年物国債金利 - 消費者物価上昇率、%)



出所:ブルームバーグ、みずほ銀行

新興国経済カレンダー

日付	国	経済指標・イベント	市場予想	発表値	前回値	修正値
エマージングアジア						
10月31日 (火)	韓国	鉱工業生産(前年比)	-0.8%	3.0%	-0.5%	-0.7%
31日 (火)	中国	製造業PMI	50.2	49.5	50.2	--
31日 (火)	中国	非製造業PMI	52.0	50.6	51.7	--
31日 (火)	タイ	国際収支:経常収支	\$2100m	\$3406m	\$401m	--
31日 (火)	台湾	GDP(前年比)	2.0%	2.3%	1.4%	--
11月1日 (水)	韓国	貿易収支	-\$1700m	\$1636m	\$3700m	\$3697m
1日 (水)	中国	Caixin中国製造業PMI	50.8	49.5	50.6	--
1日 (水)	インドネシア	CPI(前年比)	2.6%	2.6%	2.3%	--
2日 (木)	韓国	CPI(前年比)	3.6%	--	3.7%	--
2日 (木)	マレーシア	BNM翌日物政策金利	3.00%	--	3.00%	--
2日 (木)	シンガポール	購買部景気指数	--	--	50.1	--
3日 (金)	中国	Caixin中国PMIサービス業	51.5	--	50.2	--
3日 (金)	シンガポール	小売売上高(前年比)	1.3%	--	4.0%	--
6日 (月)	タイ	CPI(前年比)	--	--	0.3%	--
6日 (月)	インドネシア	GDP(前年比)	4.9%	--	5.2%	--
7日 (火)	フィリピン	CPI YoY 2018=100	5.7%	--	6.1%	--
7日 (火)	フィリピン	貿易収支	-\$4250m	--	-\$4128m	--
7日 (火)	マレーシア	鉱工業生産(前年比)	--	--	-0.3%	--
7日 (火)	台湾	貿易収支	--	--	\$10.32b	--
7日 (火)	中国	貿易収支	--	--	\$77.71b	\$77.83b
8日 (水)	韓国	国際収支:経常収支	--	--	\$4809.8m	--
9日 (木)	中国	CPI(前年比)	--	--	0.0%	--
9日 (木)	中国	PPI(前年比)	--	--	-2.5%	--
9日 (木)	フィリピン	GDP(前年比)	--	--	4.3%	--
10日 (金)	インド	鉱工業生産(前年比)	--	--	10.3%	--
中東欧・アフリカ						
10月31日 (火)	トルコ	貿易収支	-5.00b	-5.01b	-8.66b	--
31日 (火)	南ア	貿易収支(ラント)	8.0b	13.1b	13.3b	--
11月2日 (木)	ロシア	実質小売売上高(前年比)	11.3%	--	11.0%	--
3日 (金)	トルコ	CPI(前年比)	62.3%	--	61.5%	--
3日 (金)	トルコ	PPI 前年比	--	--	47.4%	--
9日 (木)	南ア	製造業生産(季調前/前年比)	--	--	1.6%	--
10日 (金)	トルコ	鉱工業生産(前年比)	--	--	3.1%	--
10日 (金)	ロシア	貿易収支	--	--	11.0b	--
ラテンアメリカ						
10月31日 (火)	メキシコ	GDP(季調前/前年比)	3.2%	3.3%	3.6%	--
11月1日 (水)	ブラジル	鉱工業生産(前年比)	0.4%	0.6%	0.5%	--
1日 (水)	ブラジル	貿易収支(月次)	\$9000m	\$2948m	\$8904m	--
2日 (木)	ブラジル	SELICレート	12.25%	12.25%	12.75%	--
3日 (金)	メキシコ	総設備投資(季調前、前年比)	27.6%	--	29.1%	--
6日 (月)	ブラジル	経常収支	-\$1400m	--	-\$778m	--
8日 (水)	ブラジル	小売売上高(前年比)	--	--	2.3%	--
9日 (木)	メキシコ	CPI(前年比)	--	--	4.5%	--
10日 (金)	メキシコ	オーバーナイト・レート	--	--	11.25%	--
10日 (金)	ブラジル	IBGEインフレーション(前月比)	--	--	0.3%	--
10日 (金)	メキシコ	鉱工業生産(季調前/前年比)	--	--	5.2%	--

注: 2023 年 11 月 2 日現在、信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性を全面的に保証するものではありません。
出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

為替相場見通し

		2023年 1～10月(実績)	SPOT	2023年 12月	2024年 3月	6月	9月	12月
対ドル								
エマージングアジア								
中国人民元	(CNY)	6.6910 ~ 7.3503	7.3160	7.20	7.20	7.15	7.10	7.05
香港ドル	(HKD)	7.7920 ~ 7.8500	7.8232	7.84	7.84	7.83	7.81	7.78
インドルピー	(INR)	80.883 ~ 83.286	83.289	82.9	83.5	84.5	83.5	82.0
インドネシアルピア	(IDR)	14565 ~ 15969	15936	15400	15250	15580	15710	15670
韓国ウォン	(KRW)	1216.30 ~ 1363.67	1357.17	1340	1330	1310	1290	1270
マレーシアリング	(MYR)	4.2250 ~ 4.7937	4.7715	4.75	4.66	4.72	4.68	4.61
フィリピンペソ	(PHP)	53.628 ~ 57.084	56.822	57.0	55.9	55.5	57.2	56.0
シンガポールドル	(SGD)	1.3032 ~ 1.3764	1.3679	1.37	1.37	1.38	1.36	1.35
台湾ドル	(TWD)	29.608 ~ 32.509	32.481	32.0	31.8	31.5	31.0	30.5
タイバーツ	(THB)	32.57 ~ 37.24	36.15	35.7	36.0	36.5	35.5	35.0
ベトナムドン	(VND)	23415 ~ 24620	24584	24450	24300	24500	24100	24000
中東欧・アフリカ								
ロシアルーブル	(RUB)	67.0415 ~ 102.3371	92.6000	92.0	90.0	88.0	90.0	92.0
南アフリカランド	(ZAR)	16.6950 ~ 19.9204	18.5430	19.5	20.0	19.8	19.6	19.4
トルコリラ	(TRY)	18.4339 ~ 28.6244	28.3221	29.0	30.0	29.0	28.0	27.0
ラテンアメリカ								
ブラジルレアル	(BRL)	4.6967 ~ 5.4798	4.9564	5.10	5.05	5.12	5.17	5.20
メキシコペソ	(MXN)	16.6262 ~ 19.5882	17.7843	17.8	18.2	18.5	18.7	19.0
対円								
エマージングアジア								
中国人民元	(CNY)	18.793 ~ 20.734	20.801	21.11	21.25	20.98	20.85	20.57
香港ドル	(HKD)	16.295 ~ 19.393	19.294	19.39	19.52	19.16	18.95	18.64
インドルピー	(INR)	1.559 ~ 1.822	1.812	1.83	1.83	1.78	1.77	1.77
インドネシアルピア	(100IDR)	0.831 ~ 0.969	0.948	0.987	1.003	0.963	0.942	0.925
韓国ウォン	(100KRW)	9.915 ~ 11.231	11.154	11.34	11.50	11.45	11.47	11.42
マレーシアリング	(MYR)	29.106 ~ 31.886	31.698	32.00	32.83	31.78	31.62	31.45
フィリピンペソ	(PHP)	2.325 ~ 2.648	2.664	2.67	2.74	2.70	2.59	2.59
シンガポールドル	(SGD)	96.55 ~ 110.75	110.34	111.19	111.43	108.70	108.66	107.17
台湾ドル	(TWD)	4.205 ~ 4.679	4.648	4.75	4.81	4.76	4.77	4.75
タイバーツ	(THB)	3.770 ~ 4.207	4.175	4.26	4.25	4.11	4.17	4.14
ベトナムドン	(10000VND)	0.5430 ~ 0.6173	0.6141	0.62	0.63	0.61	0.61	0.60
中東欧・アフリカ								
ロシアルーブル	(RUB)	1.422 ~ 1.948	1.630	1.65	1.70	1.70	1.64	1.58
南アフリカランド	(ZAR)	6.909 ~ 8.139	8.140	7.79	7.65	7.58	7.55	7.47
トルコリラ	(TRY)	5.108 ~ 7.482	5.311	5.24	5.10	5.17	5.29	5.37
ラテンアメリカ								
ブラジルレアル	(BRL)	23.723 ~ 30.506	30.447	29.80	30.30	29.30	28.63	27.88
メキシコペソ	(MXN)	6.651 ~ 8.778	8.485	8.54	8.41	8.11	7.91	7.63

注: 1. 実績の欄は 2023 年 10 月 31 日まで。SPOT は 11 月 2 日の 7 時 10 分頃。

2. 実績値はブルームバーグの値。

3. 予想の欄は四半期末の予想。

出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。